



クロジェクトX

泣き虫ケニヤイチロー先生と
ケニヤン生徒

ケニヤイチローの紹介

- 本名: 黒明 堅一郎
 - 年齢: 四捨五入で30歳
 - 出身地: 倉敷市児島
 - 家族: 妻一人、子供一人
 - 2008年6月、青年海外協力隊でケニアに派遣され、2010年3月まで活動。現在は倉敷市の中学校で働いている
-

「ケニア」と聞いて
思い浮かぶことは？

サファリと大自然



マサイ族



山、海



Smile



スワヒリ語



Jambo! (やあ!)

Habari yako?

(調子はどう?)

Mzuri!

(いいよ)

Asante!

(ありがとう)

ケニヤイチローの活動

- Class (授業)
 - Sports (スポーツ)
 - Conversation (会話)
 - Interaction (交流)
-

Class (授業)

- 英語
- 数学
- 美術
- 体育

など



Episode I 信じられない英作文

- **“ My father tryed to kill me.”**

「父が私を殺そうとした。」

- **“ My mather is dont like me
bicos i am athif.”**

- 「母は私が好きではない。なぜなら私は泥棒だからだ。」

ゲタスル更生学校の子供たち

- 年齢: 10歳から18歳までの男の子
- 人数: 平均して100名ほど。

毎日ケニア全土から子供が送られてくる。

- 背景: ストリートチルドレン、
孤児、非行少年
犯罪を犯した子(窃盗、麻薬、暴力)
-

子供たちの問題点

- 教育を受けることができない。
 - ルールを守れない、仲間に対し思いやりが無い。
 - 他人を信じることができない。
 - 自分のことを表現することができない。
-

この少年は何をしているのでしょうか？



さらにわかりやすく...



Mwalimu,

Nataka kusoma.

(先生、勉強したい)

Sports (スポーツ)

- サッカー
- バレーボール
- キャッチボール
- レクリエーション

(二人三脚、
転がしドッジ)

など



スポーツを通じて

- ルールを守る
- 仲間意識を育てる
- 安心して楽しめる
時間を作る
- 可能性を広げる



Conversation(会話)



さまざまな場所で



イベントを通して



イベントを通して②(文化祭)



Conversation(会話)の目的

- 他人を信じる心を育む
- 信頼関係を築く
- 子供たちの不安を取り除く



Interaction(交流)

- 日本文化の体験交流
(音楽・折り紙・踊りなど)
- 日本との国際交流
(手紙・絵画交換)



日本文化の体験交流

- ゲタスル文化祭
- 折り紙、万華鏡遊び
- 日本の食事
(日清・チキンラーメン)
- 日本の映画、日本語
(大使館主催)
- 日本の歌
→ムービー参照



日本との国際交流

- 倉敷市立老松小学校
 - 倉敷市立玉島北中学校
 - 倉敷市立北中学校
(別のケニアの中学校と)
 - 倉敷児童館の子供たち
 - 紙芝居作りの
倉敷市民のみなさん
-
- ほかにも県内、県外数校との交流もあり。
-



交流を通して

交流を通して、子供たちは何を学んだか？

交流を通して学んだこと

- 自分のことを正直に伝えること
- 英語で自己表現
- 手紙、ビデオの温かさ
- 日本のこと



2年間の活動を通して

- 勉強の大切さ、楽しさ
(Class)
 - 仲間意識、チームワーク
ルールを守る
(Sports)
 - 他人を信じること
(Conversation)
 - 自分を伝えること
(interaction)
-



今後の自分たちができること

- Conversation(会話), Interaction(交流)の機会を。
- 長期的展望で子供たちを見守ること。
(polepole)





ご清聴ありがとうございました。